

予算の策定が難しい今の嵐山町!

福祉費・教育費を削る事がないように

嵐山町も他の自治体と同じように、国からの地方交付税が減額されています。嵐山町は、国が強要した公共事業を行うと地方交付税に借金返済の一部を補助する政策で、道路建設等をしてきたので借金が多く、借金返済、区画整理・ふくらむ国民健康保険医療費で苦しい財政です。

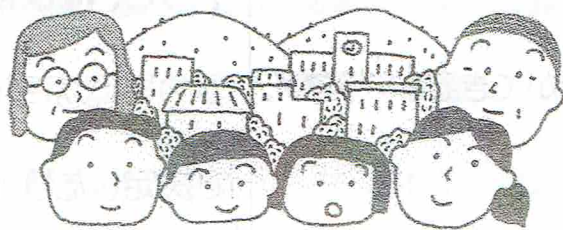
福祉費・教育費を削らないように、嵐山町の経済を豊かにし、町に税金がはいるようにすること、思い切った行政改革が必要です。

少子化で1学年数名となっている鎌形小学校を菅谷小学校に統合する時期にきています。



鎌形地区の方や他の地区の住民の方も嵐山町の転換期として、鎌形小学校を含めた町の公共施設のありかたについて話し

合い、新たな方向を考えるべきです。県の歴史資料館を嵐山町に移管する話もでています。



渋谷とみこのこれからの嵐山町への提案

- ♥ 鎌形小学校を菅谷小学校に統合する。
- ◆ 鎌形小学校に、嵐山幼稚園(幼稚園と保育園の一元化・あるいは幼稚園の延長保育を)にする。鎌形地区のコミュニティ施設として鎌形小学校施設の一部を利用する。子どもたちの宿泊合宿に利用する。
- ♣ 旧役場庁舎に入っている団体を、今まで、建設された新公共施設などに移転する。
- ♠ 旧役場・公民館等を壊し、更地とする。
- ♥ 駅西側を、住民活動の場として再整備する。
- ◆ 公民館を生涯学習センターと併設して駅西側に時期をまって建設する。あるいは県の歴史資料館をゆずりうけ、公民館にも。
- ♥ 小学校で、子どもたちが放課後も遊べて、土日、夏休みを小学校内でもすごせるよう、地域で子どもを守り育てるシステムをつくる。

● 国道254バイパス、唐子の交差点から国立女性会館の前をとおり、TSUTAYAの前をとおり、小川町までの4車線化が平成17年3月完成を目途に始まります。

渋滞の解消をめざすことで福祉や教育が削減されないように、県もバランスのある予算を。

● 都幾川大野ダム建設は中止。今後の県の都幾川河川工事が生態系を壊さないように。

元町長の関根昭二さんが11月20日お亡くなりになりました。12月1日犯罪被害者基本法が成立しました。嵐山町の犯罪被害者等支援条例は国に先駆けて犯罪被害者に医療費等の支援を行うものでした。

嵐山町条例は、国の犯罪被害者給付金支給法の改正とつながりました。自治体から国に先駆けた施策をおこなわれた関根昭二さんのご冥福をお祈りします。



地方自治を考える学習会(1)

比企の市町村合併を検証しよう!

1月23日2時より

東松山市市民文化センター第4会議室

参加費 500円

主催 じっくり市町村合併を考える会
比企の合併と地方自治を考える会